

中学歴史プリント (過去問類似)

奈良時代

名前

得点

/10

問1 奈良時代末期に成立した、日本最古の和歌集である『万葉集』の特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岐阜公立入試 類似)

1. 大伴家持が編纂に関わったとされ、天皇から庶民まで幅広い階層の歌が約4500首収められている。
2. 醍醐天皇の命により紀貫之らが編纂した、日本で最初の勅撰和歌集である。
3. 藤原定家らが編纂し、感情を豊かに表現した「新古今風」と呼ばれる歌風が特徴である。
4. 聖徳太子が制定した憲法十七条の理念を、和歌の形式で民衆に広めるために作成された。

問2 奈良時代において、天平文化の特色を示す歴史書が編纂された背景や目的について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2015年 山口公立入試 類似)

1. 仏教による鎮護国家の思想を広め、全国に国分寺を建立する正当性を与えるため。
2. 天皇による国内支配の正当性を、神話や伝承といった歴史的経緯をもとに内外に示すため。
3. 地方の特産物や地理的状況、伝承を詳しく記録し、租税の徴収を効率化するため。
4. 貴族や民衆の間で詠まれていた和歌を収集し、日本語独自の表現技法を確立するため。

問3 奈良時代、人口の増加によって公地公民の原則に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自らのものにするを認める法令の名称を答えなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)

1. 墾田永年私財法
2. 三世一身の法
3. 班田収授の法
4. 公地公民の制

問4 奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集であり、天皇や貴族といった特権階級だけでなく、防人(さきもり)や農民といった庶民の歌まで幅広く収められている作品として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2018年 和歌山公立入試 類似)

1. 万葉集
2. 古今和歌集
3. 日本書紀
4. 風土記

問5 古代の日本が「遣唐使」を派遣した大きな目的の一つは、唐の優れた統治システムを導入することであった。その影響を受けて日本が整備した、法に基づく中央集権的な政治の仕組みを何というか。 (2018年 大阪公立入試 類似)

1. 封建制度
2. 律令制度
3. 寄進地系荘園
4. 幕藩体制

問6 奈良時代、律令制度の基本原則であった「公地公民」の仕組みが崩れるきっかけとなった、新しく開墾した土地の永久的な私有を認める法令は何ですか。 (2022年 鳥取公立入試 類似)

1. 墾田永年私財法
2. 三世一身の法
3. 班田収授の法
4. 公事方御定書

問7 奈良時代、相次ぐ疫病の流行や政治的な混乱による社会不安をはずめ、仏教の力によって国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立した天皇は誰ですか。 (2016年 山口公立入試 類似)

1. 聖武天皇
2. 天武天皇
3. 推古天皇
4. 桓武天皇

問8 古代の日本において、九州北部の防衛を担った「防人(さきもり)」の制度に関する説明として、その背景や実態を正しく述べたものはどれか。 (2016年 静岡公立入試 類似)

1. 白村江の戦いで敗れた後、対外的な緊張の高まりから、主に東国の農民が九州へ派遣された。
2. 平安時代に地方の治安が乱れたため、各地の有力な農民が自発的に組織した武装集団である。
3. 律令制において、国ごとに任命された貴族が、現地の農民を率いて海岸線を警備する仕組みであった。
4. 元寇(モンゴル襲来)の際、幕府の命を受けた御家人が九州の沿岸に築かれた石築地を警護した。

問9 墾田永年私財法の制定によって、資金や労働力を持つ貴族や有力な寺院は大規模な土地の開墾を進めるようになりました。その結果、各地で形成された私有地のことを何といいますか。 (2018年 山形公立入試 類似)

1. 国衙領
2. 公領
3. 地頭請
4. 荘園

問10 ユーラシア大陸の主要な交易都市を結ぶシルクロードを経由し、西アジアの産物が日本にまで届いた歴史的背景について説明した物として、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 山口公立入試 類似)

1. 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。
2. 室町時代に活動した倭寇が、西アジアから中国沿岸部まで届いた工芸品を略奪し、東大寺などの寺院に寄進した。
3. 江戸時代初期に幕府から許可を受けた朱印船が、ペルシャ湾付近まで直接航海してガラス細工などの貴重な品を輸入した。
4. 安土桃山時代に始まった南蛮貿易において、ヨーロッパの商人がシルクロードを陸路で通り、西アジアの特産品を日本に伝えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大伴家持が編纂に関わったとされ、天皇から庶民まで幅広い階層の歌が約4500首収められている。	『万葉集』は奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集です。編纂には貴族の大伴家持が深く関わったと考えられています。最大の特徴は、天皇や貴族といった特権階級だけでなく、東国の人々や防人、農民といった幅広い階層の人々の歌が収録されている点にあり、当時の人々の素朴な感情や生活を知ることができる貴重な文化遺産となっています。
問2	答え 2 天皇による国内支配の正当性を、神話や伝承といった歴史的経緯をもとに内外に示すため。	律令制に基づいた中央集権国家の確立を目指していた当時の朝廷にとって、天皇が日本を統治する正統な理由を公式に記録することは不可欠な事業でした。そのため、バラバラに残っていた神話や有力氏族の伝承を一つの「正史」としてまとめ、国家の正当性を主張しようとしてきました。なお、地方の地理や産物を記録したのは『風土記』、和歌の収集は『万葉集』の役割です。
問3	答え 1 墾田永年私財法	人口増加に伴う土地不足を解消するため、政府は723年に「三世一身の法」を出して三世代にわたる私有を認めましたが、期限が近づく土地が荒廃するという問題が生じました。そこで743年にこの「墾田永年私財法」を制定し、開墾した土地を期限なく永久に私有財産にすることを認め、農地の拡大を図りました。
問4	答え 1 万葉集	奈良時代の文化を代表するこの作品には、約4500首もの和歌が収録されています。編纂には大伴家持が深く関わったとされ、当時の人々の素朴で力強い感情が、漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」を用いて記されています。特に、遠く九州の警備に赴いた人々による「防人の歌」などは、当時の民衆の暮らしや心情を知る貴重な史料となっています。
問5	答え 2 律令制度	唐は、刑法にあたる「律」と行政法にあたる「令」を中心とした高度な統治システムを完成させていました。日本はこの仕組みを学び、大宝律令などを制定することで、天皇を中心とした官僚機構による国家体制を築き上げました。
問6	答え 1 墾田永年私財法	律令国家では当初、土地と人民はすべて国家のものとする公地公民制をとっていましたが、人口の増加により、人々に分け与える口分田が不足しました。そこで政府は743年にこの法令を出し、開墾を奨励しました。その結果、貴族や寺社が広い私有地（荘園）を持つようになり、律令制の仕組みが大きく変化する要因となりました。公事方御定書は江戸時代の法典であるため誤りです。
問7	答え 1 聖武天皇	奈良時代の中頃、天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった社会不安を背景に、仏教の力で国を治めようとする政策がとられました。この政策を進めたのは聖武天皇であり、全国に国分寺・国分尼寺を建立するだけでなく、都である平城京には東大寺を建立し、巨大な大仏（盧舎那仏）を造立しました。
問8	答え 1 白村江の戦いで敗れた後、対外的な緊張の高まりから、主に東国の農民が九州へ派遣された。	663年の白村江の戦いで敗北後、唐や新羅が日本へ侵攻してくることを恐れた政府は、九州北部に防人を配置しました。当初は全国から集められましたが、後に東国の農民に限定されるようになります。これは、東国が古くから兵を出す地域として重視されていた背景がありますが、農民にとっては旅費も自己負担であり、生活を困窮させる大きな要因となりました。なお、選択肢にある「幕府の命を受けた御家人」は鎌倉時代の「異国警固番役」を指します。
問9	答え 4 荘園	墾田永年私財法により土地の私有が永久に認められると、経済力のある貴族や大寺院は付近の農民を使い、大規模な開墾を行って私有地を拡大させました。これが荘園の始まり（初期荘園）となり、律令制の基本であった公地公民制（土地はすべて国家のものとする原則）が崩壊していく大きな要因となりました。
問10	答え 1 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。	奈良時代の日本は、唐の先進的な文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐は西アジアとも交流を持つ国際的な帝国であり、シルクロードを通じてペルシャなどの産物が流入していました。日本に伝わったこれらの産物は、東大寺の正倉院に保管され、現在も当時の国際交流の様子を伝えています。選択肢にある倭寇や朱印船、南蛮貿易は、奈良時代よりも後の時代の出来事であり、シルクロードを介した唐との交流とは異なります。